

CV 30/1

日本語

2



目次

一般的な注意事項	2
環境保護	2
安全注意事項	2
規定に沿った使用	3
機器上のシンボル	3
機器に関する説明	4
取り付け	6
セットアップ	7
操作	7
搬送	8
保管	8
お手入れとメンテナンス	8
故障かなと思ったら	9
アクセサリとスペアパーツ	9
技術データ	10
保証	10

一般的な注意事項



装置の初期使用前に、この取扱説明書を読んで、指示に従ってください。この文書は、後の使用あるいは次の所有者のために保存してください。

- 取扱説明書および安全上の注意事項を守らないと、機器が損傷したり、オペレーターや他の人に危険が及ぶ可能性があります。
- 取扱説明書内の備考の他に、使用国の一般的な安全/事故防止規定を順守してください。
- 機器に取り付けられた警告および情報標識は、安全な操作のための重要な情報を提供します。
- 搬送中に破損した場合は、直ちに販売店にご連絡ください。
- 開梱時にアクセサリの欠品がないか、または商品に損傷がないかどうか梱包の中身を確認して下さい。

環境保護



梱包材はリサイクル可能です。各自治体の規定に従ってリサイクル処理してください。



電子機器には、誤って取り扱ったり廃棄したりすると人間と環境に危険を及ぼす可能性があるバッテリーや充電式バッテリーパック、あるいはオイルなどの構成要素が含まれています。これらは機器が適切に機能するために必要な構成要素です。このシンボルが表記されている機器は、各自治体の規定に従って、廃棄してください。

安全注意事項

セキュリティレベル

△ 危険

- この注記は死亡事故に至る直接的な危険を指します。

△ 警告

- この注記は身体の重傷または死亡に至る可能性が考えられる危険を指します。

△ 注意

- この注記は軽度から中程度の怪我を招く恐れのある危険状態を示唆します。

注意

- この注記は器物破損を招く恐れのある危険状態を示唆します。

個人用保護具

- △ 注意 ● 機器を取り扱う際には、適切な手袋を着用してください。

一般的な安全に関する注意事項

△ 危険 ● 窒息の危険。包装材に子供が近寄らないようにしてください。

△ 警告 ● 機器は規定に従ってのみ、使用してください。機器を操作するときは、周辺の状態を考慮し、第三者、特に子供に注意してください。● 本機器は、身体的、感覚的、精神的能力に制限がある方、経験および/または知識が不足している人は使用しないでください。● 装置の取り扱いについて指導を受けた、または操作スキルを持つことを示し、装置の使用を明示的に委託された人のみがデバイスを使用できます。● 子供は本装置を使用しないでください。● 子供が装置を玩具として遊ばないように監督してください。

△ 注意 ● 安全装置は使用者を保護するためのものです。安全装置に変更を加えたり、バイパスさせたりするのは絶対におやめください。

感電の危険

△ 危険 ● 保護クラス I の機器は、適切にアースされた電源にのみ接続してください。● 銘板に記載されている電圧は、電源の電圧と一致している必要があります。● 濡れた手で電源プラグやコンセントに触れないでください。

△ 警告 ● デバイスは、電気技師が IEC60364-1 に準拠して設置された電気設備にのみ接続してください。● 泡が発生したり液体が漏れたりした場合は、すぐに機器の電源を切り、電源プラグを抜くか、充電式電池パックを取り外してください。● 本機を使用する前に、主電源プラグ付きの主電源接続ケーブルが損傷していないことを確認してください。主電源ケーブルが破損した場合は、危険を避けるため、製造元、正規のカスタマーサービス、または資格のある電気技師によって直ちに交換してください。● 踏みつけたり、押しつぶしたり、引っ張ったりして、電源コードや延長ケーブルを損傷させないでください。電源コードを熱、オイル、鋭利な角部から保護してください。● ケルヒャー指定品番の延長コードを 1 本のみ接続してください。市販の延長コードを接続すると、発熱や火災、感電の原因となる可能性があります。また、電圧の低下により、モーターに負担がかかり、故障の原因となることがありますので、指定の延長コードにさらに延長コードを接続しないでください。本体、アクセサリの品番情報については、*カタログ*、*ホームページ*等をご覧ください。● 主電源接続部または延長ケーブルのカップリングは、同じ防滴性能と機械的強度を持つもののみ交換してください。

注意 ● 主電源を入れる際、短時間の電圧降下が発生します。● 主電源の状態が悪いと、他の機器に影響を与える可能性があります。● 主電源インピーダンスが 0.15Ω 以下であれば、干渉はありません。

運転

- △ **危険** ● 危険なエリア（ガソリンスタンドなど）で機器を使用する場合は、そのエリアの安全規制を遵守してください。● 爆発の危険性がある場所での操作は禁止されています。● 爆発の危険があります。一部の物質は、乱流により爆発性の蒸気や吸入空気との混合物を形成し、機器で使用されている物質を腐食させる可能性があります。
- 可燃性のガス、液体、粉塵（反応性粉塵）を吸引しないでください。取扱説明書の「規定に沿った使用」を参照してください。
 - 反応性金属粉塵（アルミニウム、マグネシウム、亜鉛など）を、強いアルカリ性洗剤や酸性洗剤と一緒に吸引しないでください。
 - 食塩水や酸を吸引しないでください。
 - 有機溶剤（ガソリン、塗料シンナー、アセトン、加熱油など）を吸引しないでください。
 - 燃焼またはくすぶっている物体/ 物質を吸引しないでください。
- △ **警告** ● 機器で人や動物を吸引しないでください。● 人体に有害な粉塵の吸引に機器を使用しないでください。取扱説明書に記載されている安全上の注意を守ってください。
- △ **注意** ● 使用前に、機器と付属品が適切な状態にあること、そして操作上の安全性を確認してください。機器が損傷の際は機器のプラグを抜いて使用しないでください。● 機器の電源をオンにしたまま、または電源プラグやバッテリーを取り外さないままの状態を放置しないでください。
- 注意** ● 0°C未満の温度で機器を操作しないでください。● 低温の屋外では使用しないでください。

乾式掃除機

- △ **警告** ● 機器は、乾式清掃専用です。屋外の濡れた場所で使用しないでください。大変危険です。機器の故障の原因にもなります。

回転ブラシ付きユニット

- △ **危険** ● 感電の危険があります。電源ケーブルまたは延長ケーブルをクリーニングヘッドの回転ブラシと交差させないでください。
- △ **注意** ● 不適切なブラシの使用はたいへん危険です。機器に付属のブラシまたは取扱説明書で推奨されているもののみを使用してください。

お手入れとメンテナンス

- △ **警告** ● お手入れ、サービス業務、部品交換を行う前に、機器のスイッチをオフにして電源プラグを抜くか、または充電式電池パックを取り外す必要があります。別の機能に切り替える前に、機器のスイッチをオフにしてください。
- △ **注意** ● 修理は、認定されたカスタマーサービスセンター、または関連するすべての安全規定に精通しているこの分野の専門家のみが行うことができます。修理は、機器に関連するすべての安全指示に精通しており、資格のある認定されたカスタマーサービスまたはスタッフのみが実行できます。
- 注意** ● 機器の安全点検は使用する場所で適用されている規制に基づいて行ってください。● ショートまたはその他の損傷。機器の清掃にホースによる水噴射や高圧水噴射を使用しないでください。

アクセサリとスペアパーツ

- △ **注意** ● メーカーが承認したアクセサリおよびスペアパーツのみを使用してください。純正アクセサリおよびスペアパーツを使用することで、機器の安全でトラブルの無い動作が保証されます。

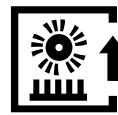
輸送

- △ **注意** ● 搬送前にモーターを停止してください。重量を考慮して機器を固定してください。取扱説明書の章 **技術データ** を参照してください。

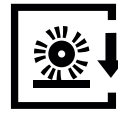
規定に沿った使用

- △ **警告**
健康被害
健康に有害な粉塵の吸引
健康に有害な粉塵の吸引には使用しないでください。
- 注意**
機器の破損
高湿度環境では使用しないでください（ショートのリスク）。
屋内のみで使用・保管してください。
- 床面や壁面のドライクリーニングに対応したカーペット用掃除機です。
 - この機器は、ホテル、学校、病院、工場、ショップ、オフィス、商業施設などの業務用清掃に適しています

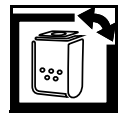
機器上のシンボル



ロングパイルカーペット用設定



ショートパイルカーペット用設定



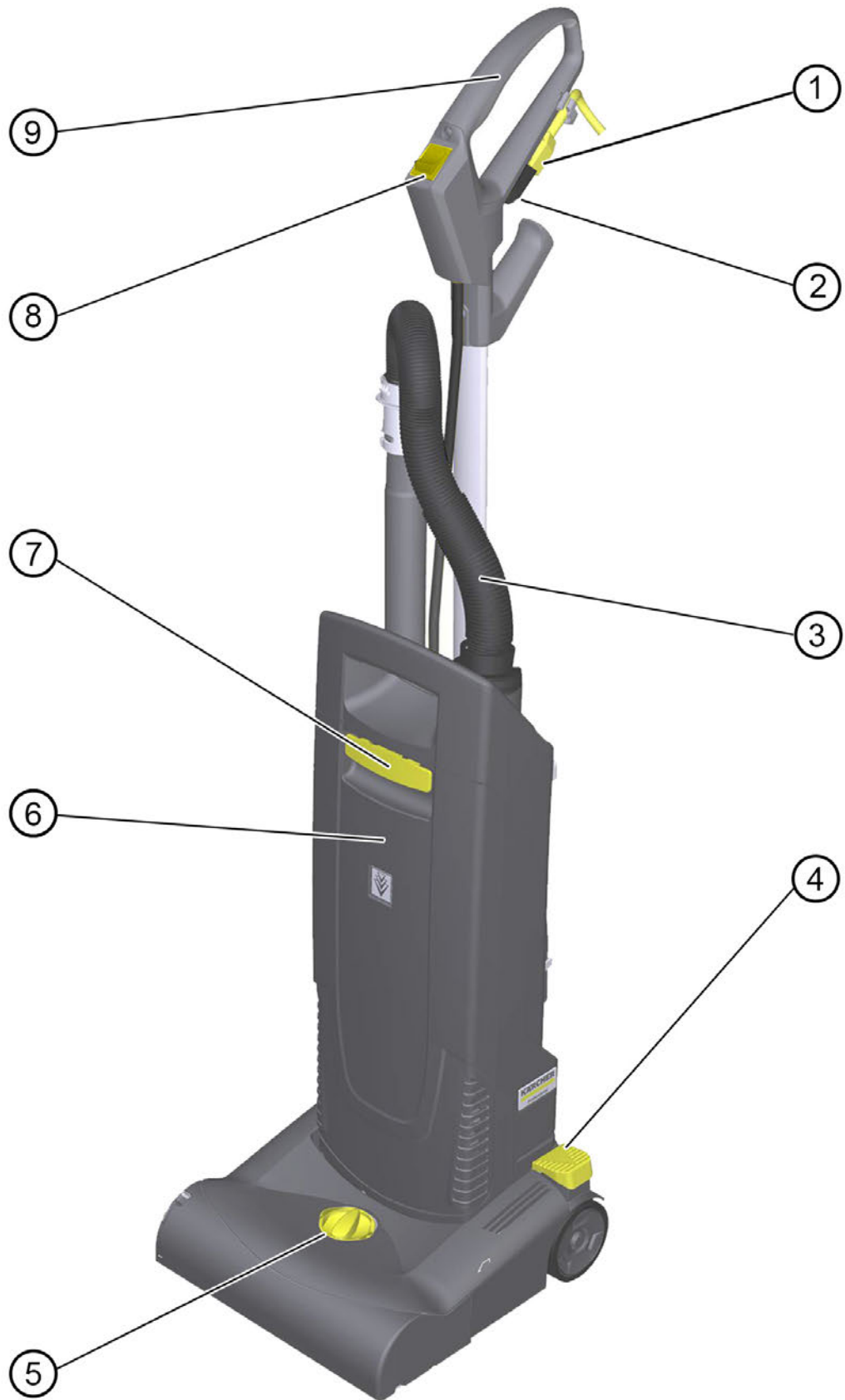
フィルターサイン（「障害発生時のサポート」を参照してください。）

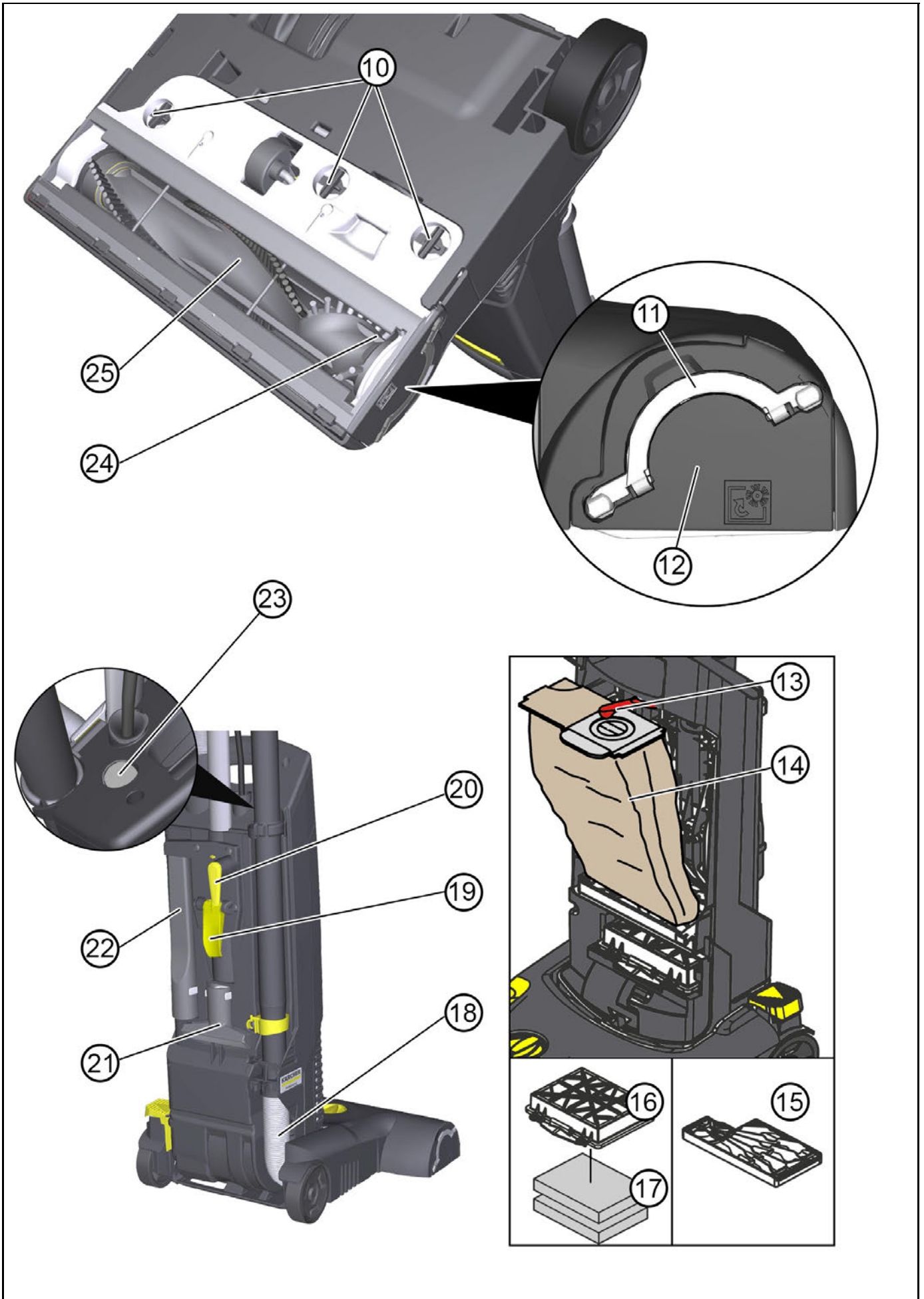


ローラーブラシの状態（「ローラーブラシを交換する」を参照してください。）

銘板

銘板には、さらに重要なデバイス仕様が記載されています。銘板は、機器の背面にあります。





- ① 電源ケーブル
- ② 電源ケーブル接続口
- ③ サクションパイプ/サクションホース
- ④ ブラシヘッドロック
- ⑤ ブラシ高さ調整ノブ
- ⑥ フィルターカバー
- ⑦ フィルターカバーロック
- ⑧ 電源スイッチ
- ⑨ ハンドル
- ⑩ ブラシカバーロータリーロック
- ⑪ ローラーブラシ横カバーレバー
- ⑫ ローラーブラシ横カバー
- ⑬ フィルターバッグロック
- ⑭ フィルターバッグ
- ⑮ モーター保護フィルター
- ⑯ フィルターケース
- ⑰ 排気フィルター
- ⑱ ブラシヘッドサクションホース
- ⑲ ハンドルアジャスター
- ⑳ ケーブルフック (回転可)
- ㉑ ハンドノズル
- ㉒ すきまノズル
- ㉓ フィルターサイン
- ㉔ 摩耗インジケーター
- ㉕ ローラーブラシ

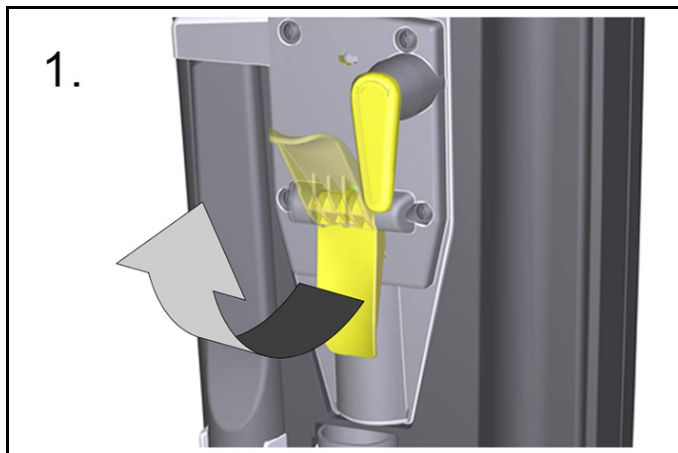
取り付け

機器を初めて使用する前に、同梱部品を機器に取り付けます。

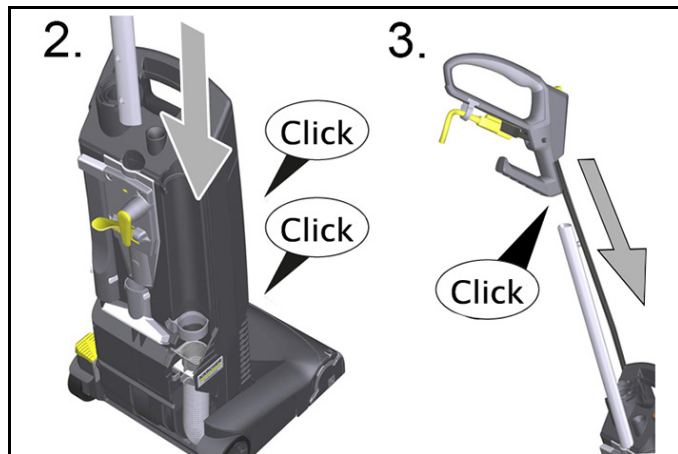


- ① 電源ケーブルとハンドル
- ② ハンドルシャフト
- ③ サクションパイプ/サクションホース

1. ハンドルアジャスターを上げます。

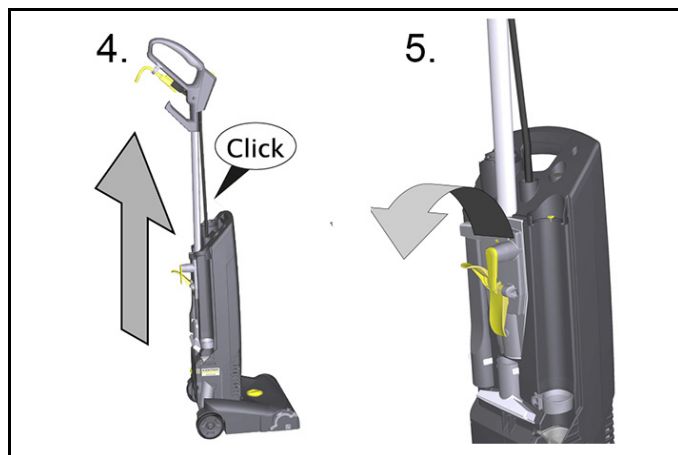


2. ハンドルシャフトを本体に差し込み、奥まで押し込みます (2回カチッと音がします)。



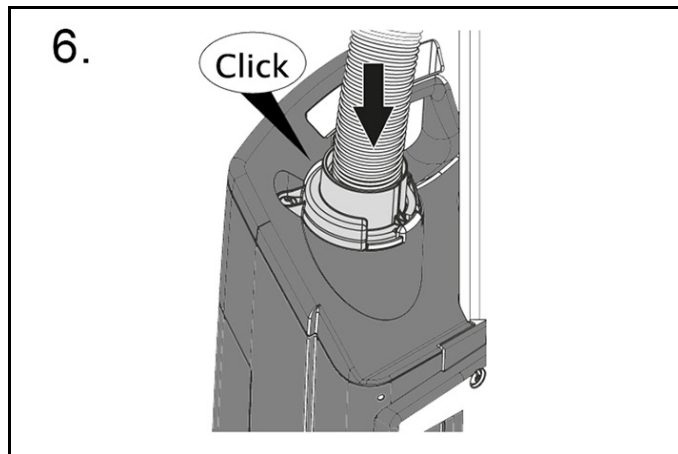
3. ハンドルをシャフトに取り付け、カチッと音がするまで押し込みます。このとき電源ケーブルがからまったり、ねじれたりしないように気を付けてください。

4. ハンドルを再上段 (最初にカチッと音がするところ) まで引き上げます。

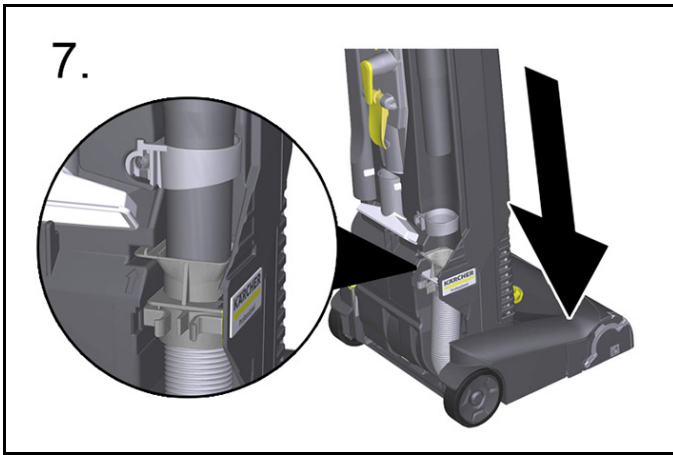


5. ハンドルアジャスターを下げます

6. サクションホースをホース接続口に挿入します。



7. サクションパイプをパイプ接続口に挿入します。

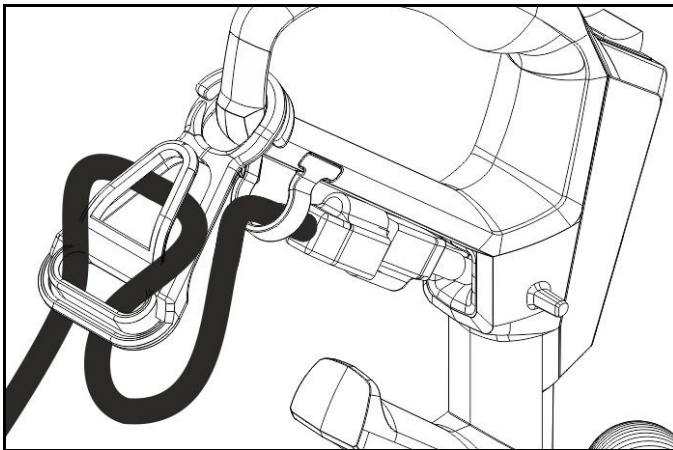


セットアップ

フィルターバッグを取り付ける

1. ロックを解除し、フィルターカバーを取り外します。
2. フィルターバッグロックを右に回してロックを解除します。
3. フィルターバッグを挿入し、フィルターバッグロックを左に回して固定します。
4. フィルターカバーをはめ、ロックで固定します。

電源ケーブルを機器に接続する



1. ハンドルに付いているケーブルホルダーを開きます。
2. 付属の電源ケーブルを、機器の電源挿し込み口に接続します。
3. ハンドルのケーブルホルダーを使用して、意図せずプラグが外れないようにプラグの接続を固定します。
4. ストレインリリーフをハンドルにはめます。電源ケーブルをストレインリリーフに通し、フック部に掛けます。

操作

ハンドルの高さを調整する

ハンドルの高さを調整できます。

1. ハンドルアジャスターを上げます。
2. ハンドルの高さを適切な位置になるまで上下させます。
3. ハンドルアジャスターを下げます。

電源をオンにする

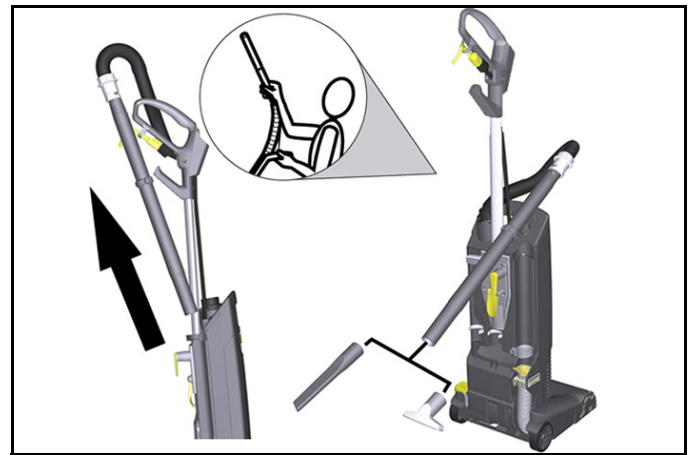
1. 電源プラグを接続します。
2. 機器の電源をメインスイッチでオン（I側）にします。

ローラーブラシを操作する

1. ブラシヘッドにあるブラシ高さ調整ノブでブラシ高さを調整します。
2. 清掃します。

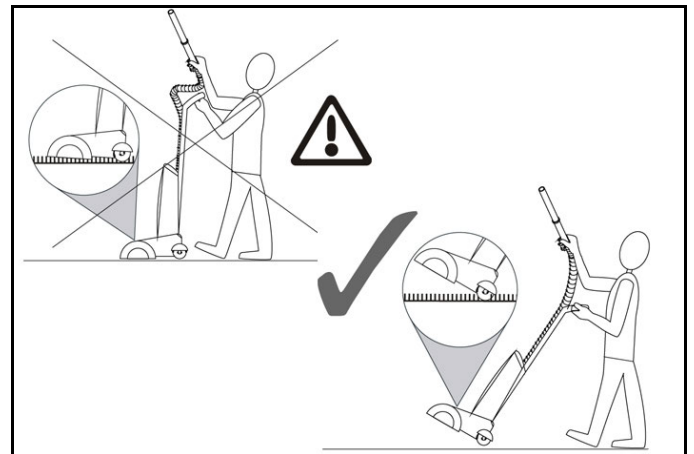
付属品を使用する

すきまノズルとハンドノズルを使用して吸引します。



1. サクションパイプを機器から引き抜きます。
2. 使用する付属品を機器から取り外し、サクションパイプの先に取り付けます。
3. 清掃します。

サクションパイプの動作



注意

回転するブラシローラーによる危険 損傷の危険

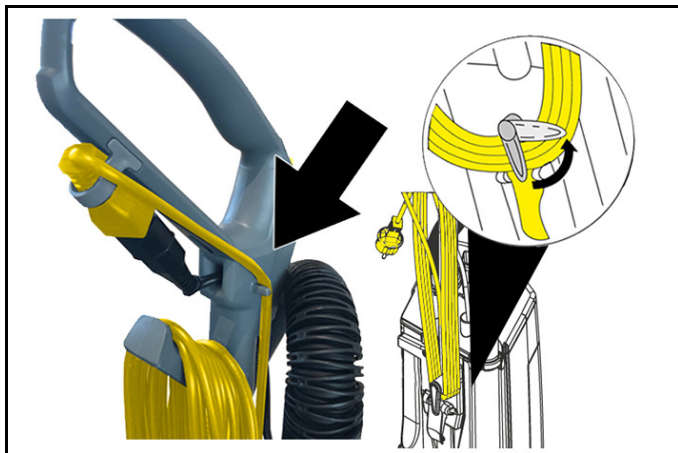
サクションホースで掃除機をかける際、ハイパイルカーペットの場合は回転ブラシローラーでブラシヘッドを調整しないでください。回転するブラシローラーが長く留まると、カーペットが傷ついたり破壊されたりする可能性があります。

電源をオフにする

1. 機器の電源をメインスイッチでオフ（O側）にします。
2. 電源プラグを抜きます。

コード収納

電源ケーブルは本体に収納することができます。



1. 電源ケーブルを巻き付け補助具の上に導きます。
2. 電源ケーブルをケーブルフックとハンドルに巻き付けます。
3. 電源ケーブルを取り外すには、ケーブルフックを開き、ハンドルからケーブルを取り出します。

搬送

△ 注意

重量無視

怪我ならびに損傷の危険

搬送の際には装置の重量に注意してください。

1. 電源コードをコード収納部に巻き付けます。
2. キャリングハンドルで本体を持ち運びます。
3. 本機を車両で輸送する際には、適用されるガイドラインに従って、滑り止めや転倒防止のための固定を行ってください。

保管

△ 注意

重量規定に従わないと、怪我や破損につながるおそれがあります。

保管の際には装置の重量に注意してください。

デバイスは常に屋内に保管してください。

お手入れとメンテナンス

△ 危険

感電による事故の防止

お手入れ前は、必ず機器のスイッチをオフにして、電源プラグを抜いてください。

メンテナンス間隔

注意

損傷の危険

本機の破損を防ぐため、定期的にメンテナンスしてください。

毎日のメンテナンス

1. ローラーブラシを清掃します。

毎週のメンテナンス

1. ローラーブラシに摩耗がないか確認します。

注意事項

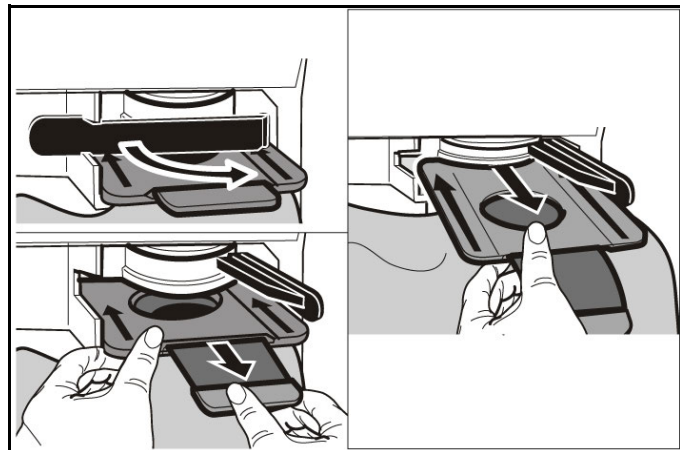
摩耗インジケーターには、ブラシとは異なる色が付いています。他のブラシの毛の長さと比較することで、摩耗度を確認できます。ブラシの毛（黒）の長さが、摩耗インジケーター（赤）と等しくなったら、ローラーブラシを交換してください。

ローラーブラシを清掃する

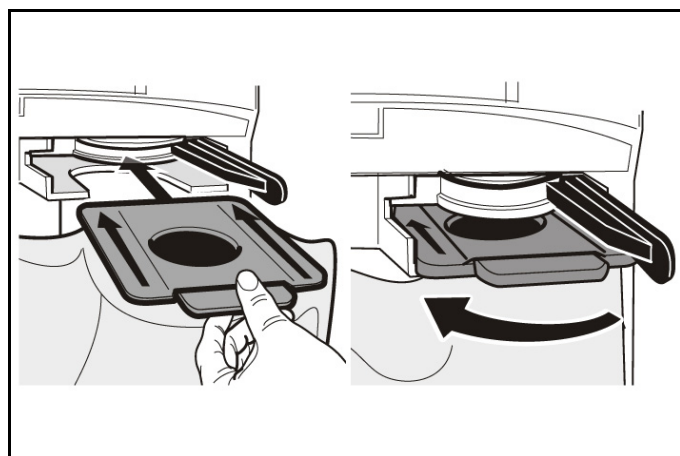
1. 必要に応じて、ブラシカバーを外します。コインを使って固定ねじを90度回し、ブラシカバーを外します。
2. ローラーブラシに絡まった髪の毛や糸を、ハサミを使って切断し、取り除きます。

フィルターバッグを交換する

1. ロックを解除し、フィルターカバーを取り外します。
2. フィルターバッグロックを右に回してロックを解除します。フィルターバッグを閉じ、取り外して廃棄します。



3. 新しいフィルターバッグを挿入し、フィルターバッグロックを左に回して固定します。



4. フィルターカバーをはめ、ロックで固定します。

排気フィルターを交換する

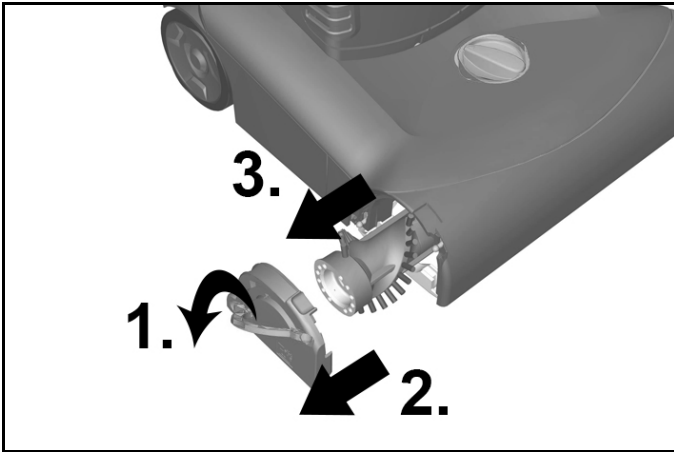
1. ロックを解除し、フィルターカバーを取り外します。
2. フィルターケースのロックを押し上げ、フィルターケースを取り外します。
3. フィルターケースから、排気フィルターを取り外します。
4. 新しい排気フィルターをフィルターケースに装着します。
5. フィルターケースを元の位置に戻し、カチッと音がするまで押し込みます。
6. フィルターカバーをはめ、ロックで固定します。

モーター保護フィルターを交換する

1. ロックを解除し、フィルターカバーを取り外します。
2. モーター保護フィルターのロックを押し上げます。古いモーター保護フィルターを取り外し、廃棄します。
3. 新しいモーター保護フィルターを取り付けて固定します。
4. フィルターカバーをはめ、ロックで固定します。

ローラーブラシを交換する

交換作業は、ローラーブラシ横カバーレバーを完全に起こしてから行ってください。



1. ローラーブラシ横カバーレバーを掴み、完全に起こしたあと、ローラーブラシ横カバーを引き抜きます。
2. 古いローラーブラシを引き出し、廃棄します。
3. 新しいローラーブラシを側面から挿入します。
4. ローラーブラシ横カバーをローラーブラシに当て、一緒に押し込みます。
5. ローラーブラシ横カバーレバーを倒してローラーブラシ横カバーを固定します。

故障かなと思ったら

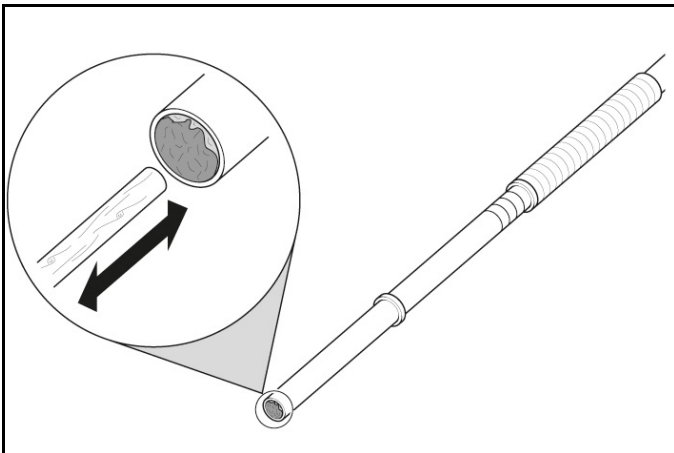
△ 危険

感電による事故の防止

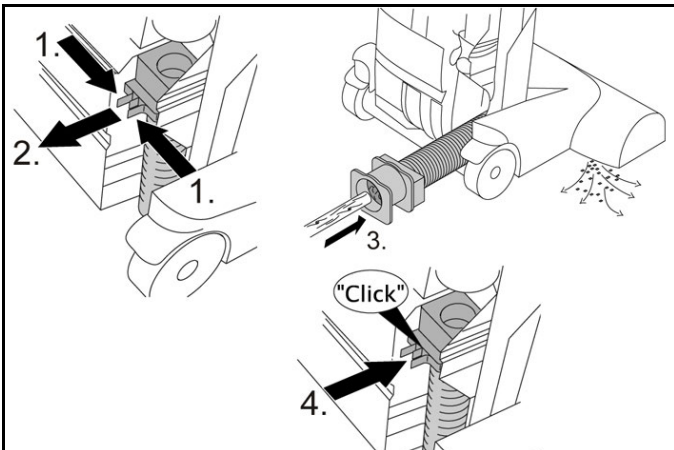
お手入れ前は、必ず機器のスイッチをオフにして、電源プラグを抜いてください。

つまった場合

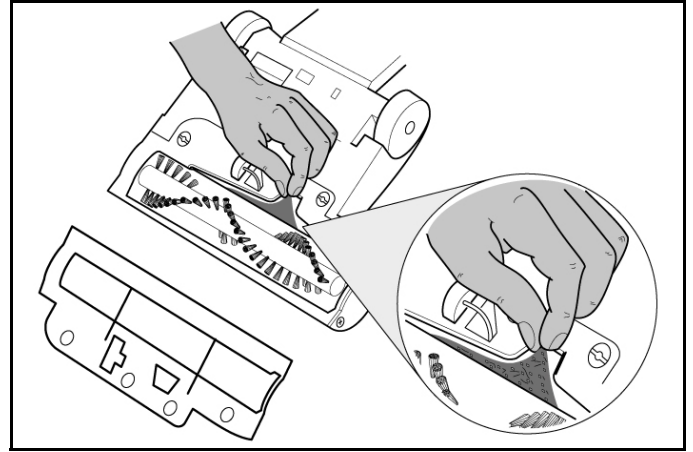
サクシオンパイプ/サクシオンホース



ブラシヘッドサクシオンホース



ブラシローラー/ブラシヘッド



注意事項

必要に応じて、ブラシカバーを分解すると、取り扱いが容易になります（「ブラシローラーの清掃」を参照）。

電源が供給されていません

- 電源ソケットと電源ヒューズを確認します。

- 電源ケーブルと機器の電源プラグを確認します。

- ハンドルの電源ケーブルプラグの接続を確認します。

過熱のため、過熱防止スイッチがモーターをオフにしました

- フィルターとサクシオンホースを確認してください。使用中のフィルターを交換するか、サクシオンホースの詰まりを取り除きます。

- 機器が冷えるまで待ちます。

電源オフ時のガラガラ音

注意事項

大きすぎるものやブロックが吸い込まれると作動し、ブラシローラーを損傷から守るスリップクラッチを搭載しています。

注意事項

異物が取り除かれていないと、電源を切るまでクラッチが作動せず、大きなカタカタ音がします。

- ブラシローラーに障害物がないか確認し、必要であれば取り除いてください。再度電源を入れると、ノイズは鳴らなくなります。

吸引力が足りない

- ローラーブラシの回転を妨げる異物がないか確認し、ある場合は取り除きます。

- ブラシヘッド、サクシオンパイプ、サクシオンホースから詰まりを取り除きます。

- フィルターバッグを交換します。

- 排気フィルターまたはモーター保護フィルターを交換します。

- ブラシ高さ調整ノブを適切な位置に調整します。

- ローラーブラシを交換します。

フィルターサイン点灯

オレンジ

- ブラシヘッド、サクシオンパイプ、サクシオンホースから詰まりを取り除きます。

- フィルターバッグを交換します。

カスタマーサービス

上記の点を確認しても問題が解決せず、不具合が疑われる場合は、修理を依頼してください。

アクセサリーとスペアパーツ

純正のアクセサリーおよび純正のスペアパーツのみ使用してください。これにより装置の安全で、トラブルの無い動作の保証が約束されます。

アクセサリーやスペアパーツに関する詳細については、<https://www.kaercher.com/jp/professional.html>をご参照ください。

技術データ

		Kärcher CV 30/1
電気コネクタ		
電源電圧	V	100
フェーズ	~	1
電源周波数	Hz	50-60
保護クラス		II
定格消費電力	W	1150
装置のデータ		
吸引風量(最大)	l/s	48
真空度(最大)	kPa (mbar)	20,7 (207)
度量衡		
長さ x 幅 x 高さ	mm	340 x 310 x 1215
ワイドブラシローラー	mm	300
使用時重量	kg	8,4
環境条件		
周囲温度(最大)	° C	+40
EN 60335-2-69 に基づいて求めた値		
音圧レベル L_{pA}	dB (A)	67
不確実性 K_{pA}	dB (A)	1
音響パワーレベル L_{WA} 保証	dB (A)	80
手および腕における振動値	m/s^2	<2,5
不確実性 K	m/s^2	0,2
電源コード		
メインケーブルタイプ	mm^2	VCTF (300V) 2x1,25
部品番号 (JP)		6.650- 919.0
コード長さ	m	0,1

延長電源コードは定格1500Wをご使用ください。
技術的な変更が行われることがあります。

保証

保証書は日本でのみ有効です。不具合の原因が製造上の欠陥に起因する場合は、保証期間中は無料で修理いたします。補償請求の場合は、購入日を証明する領収書の提示が必ず必要になります。

部品の摩耗、通常の摩耗、または耐用年数終了の場合、および購入日を証明する領収書が提示されない場合、修理は有料になります。

ユーザー登録をしていただくことで、保証期間が2年に延長されます（アクセサリ、スペアパーツと洗剤を除きます）。

保証書

保証規定

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合はこの保証規定に従い無償修理いたします。
本書の再発行は行いません、紛失しないよう切り取り大切に保管してください。

保証の内容

お買い上げいただいた製品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、これを無償修理いたします(この無償修理を保証修理といいます)。
保証修理は部品の交換あるいは補修により行いません。また取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

保証期間

保証期間は製品を新品でご購入いただいた日から1年です。
但しご購入から1ヶ月以内にケルヒャーユーザー登録をいただいた場合に限り、保証延長が適用され、保証期間はご購入いただいた日から2年となります。
ケルヒャーユーザー登録方法は弊社ウェブサイトをご覧ください。
※温水高圧洗浄機のステンレス製ヒートコイルのみご購入日から3年間の保証となります。

保証できない事項

お買い上げ頂いた機種に該当しない事項も記載されています。

■次に示すものに起因すると判定される故障は保証修理いたしません。

- ・本書面その他購入時に製品に付属する説明書類(取扱説明書を指すがこれに限らない)に反する使用
- ・保守整備の不備または使用方法の間違い(日常点検をしていない場合)
- ・弊社が提示している仕様の限界を超える使用(例:電力異常による損傷、燃料異常による損傷、凍結させた場合の損傷、ホースの亀裂など)
- ・弊社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意によるケガおよび故障

■次に示すものは保証修理いたしません。

- ・消耗品(油脂、ノズル、Oリング、パッキン、バルブ、ホース、ベルト、ギア、ブラシ、パッド、バッテリー、タイヤおよびこれらに類する消耗品)
- ・経年変化により発生した不具合
(錆び、塗装、プラスチックの自然退色、ホースのひび割れ、安全バルブ、電装部品など)
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象(音、振動、微量な水もれ、オイルのにじみなど)
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合、故障
- ・薬品、塩害などに起因する不具合、故障
- ・水質などに起因する詰まり、劣化、消耗、傷

■次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・清掃、点検、調整、定期点検整備、保証修理以外で使用した部品、輸送費、宿泊費、出張費など
- ・この保証書に示す条件以外の費用補修など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さおよび損失など(休業損失、商業損失など)
- ・洗浄対象物に損傷、破壊、変色などが生じた場合の補修費用
- ・正しく操作をせずに負ったケガの治療費用



THANK YOU!

MERCI! DANKE! ¡GRACIAS!

■ ユーザー登録で1年保証を2年に延長できます。

品質に自信があるからこそその長期保証。
お客様に安心してお使いいただくためのアフターサービスを提供しています。
ユーザー登録をしていただくことで、製品の保証期間を2年に延長いたします。

※ご購入後30日以内に、当社ホームページからユーザー登録が必要です。
期間を過ぎてからの登録は対象外とさせていただきます。
※アクセサリ、パーツ、洗浄剤を除きます。

下記URLまたはQRコードで、当社ホームページからお申し込みいただけます。
https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/registry.html



Webからのユーザー登録はこちら



■ 製品のご用命、仕様、修理に関するお問い合わせ

業務用製品コールセンター

TEL : 045-777-7410 FAX : 045-777-7411

受付時間 : 9:00~17:00 月曜~金曜日(祝日、当社休日を除く)

※修理のお申し込みは、下記 URL または QR コードで当社ホームページからもお申し込みいただけます。

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

Webからの修理申し込みはこちら

